

予算のあらまし

今年度の当初予算は、若者・女性の市外転出や多くの分野での人材不足など、本市を取り巻く環境変化への的確な対応と将来のまちづくりを見据えた挑戦のため、「ミライ実現戦略2030」を推進する取組に重点的に予算を配分しました。



市ホームページ

「ミライ実現戦略2030」を推進する主な事業

取組目標1 こどもが多様な生き方・暮らし方を選択できる

■とよた地域クラブ活動の推進 拡充 3億8,735万円

9月に部活動をとよた地域クラブ活動に完全移行するため、必要な指導者等を確保するとともに技術指導研修を行うなど、子どもたちの安全・安心を守り、安定した運営を推進します。

■魅力ある教育環境の検討 新規 1,269万円

山村地域及び五ヶ丘地区の学校再編を検討するため、住民ワークショップを実施するとともに、再編構想案を作成します。

■学校施設の多機能化 新規 1,580万円

子どもたちの地域資源を生かした学びや体験と、誰もが生涯にわたり学び続ける機会の充実に向け、多様な学び・交流の場、居場所として学校施設の多機能化を進めます。今年度は、実証の課題整理・運用に向けた制度設計を行います。

■世界ラリー選手権の開催 12億4,857万円

開催期間：5月28日(木)～31日(日)

■棒の手会館の展示リニューアル 拡充 1億696万円



取組目標2 誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる

■若者の出会いの場の創出 新規 652万円

■若い世代のライフデザイン形成の支援 拡充 596万円

■結婚・出産祝い品の贈呈 新規 231万円

■妊産婦や乳幼児の健康増進 拡充 4億856万円

新たに2歳・5歳児の健康診査を実施します。特に5歳児健診では、身体発育・発達の確認とともに、安心して就学に向けた準備ができるよう保護者と一緒に子どもとの関わり方を考えます。また、乳幼児健康診査の予約について利便性向上を図るため、市公式LINEに変更します。

■乳児保育ニーズへの対応

■入園要件のない0～2歳児の預かり事業 拡充 8,718万円

乳児の一時預かりをする「一時保育プラス事業」を継続して市内3か所で実施します。また、「こども誰でも通園制度」の開始に伴い、とよた子育て総合支援センターあいあい、上郷こども園の受入枠を拡大します。

■こども園乳児受入枠の拡大 1,644万円

乳児(0～2歳児)の保育ニーズの増加に対応するため、保育所化改修により、今年度から高橋こども園、野見こども園の乳児の利用定員を拡大します。

取組目標3 産業中枢都市として深化し続ける

■女性に魅力ある雇用・職場の創出 新規 1,699万円

市外からの若年女性の流入を促す雇用環境について検討を進めるため、専門フェローを新たに登用し、女性就業率の高い業種を対象にした進出意向調査や中心市街地の空きオフィス調査を実施します。

■設備投資の促進 16億3,184万円

■貞宝地区産業用地整備の推進 新規 955万円

愛知県企業庁が事業主体となって進める用地造成事業を推進するため、事業用地の取得に向けた用地交渉、地域や関係機関との調整を実施します。

■公民連携による働きやすい職場の推進 拡充 1,046万円

今年度は、D E I (Diversity, Equity&Inclusion)※の理解促進と実践支援を目的とした公民連携協議会を設立し、地域全体での意識醸成と環境整備を推進します。

※D E I…多様性・公平性を大切にして、誰もが活躍できる働き方を目指す考え方

取組目標4 将来を展望した都市環境の形成を進める

■持続可能な住民自治の形成支援 拡充 995万円

人口減少下においても山村地域の集落機能を維持するため、集落運営の見直しの伴走支援を実施します。

■魅力的な都心形成の推進 35億5,564万円

利用者の安全・安心を確保し、交通結節機能の強化・利便性の向上を図るため、名鉄豊田市駅西口のバス乗降場の供用を開始するほか、豊田市駅東口駅前広場の整備や豊田市駅の北改札設置などを実施します。

■中心市街地の広場等屋外空間を活用したにぎわい・滞在・快適性の向上 拡充 6,029万円

■中央公園スポーツパークの供用開始 新規 5,689万円

9月の供用開始に向け、民間活力の導入により、人工芝グラウンドやクラブハウスなどを備えた「中央公園スポーツパーク」を整備します。

■上下水道関係施設の災害対策の推進 21億7,355万円

取組目標5 脱炭素社会の実現に挑戦する

■とよた・ゼロカーボンネットワークによる行動促進 1,000万円

■熱中症対策の実施 拡充 552万円

クーリングシェルターの拡大に加え、新たに緑のカーテンの設置や日傘等の利用を促進する「とよた・涼活アクション」を展開します。

■次世代型太陽電池活用実証事業 新規 1,000万円

公共施設などにおいて次世代型太陽光発電設備を設置し、早期導入に向けた実証を実施します。

■燃料電池商用車(トラック・バス・タクシー)導入への支援 拡充 1億1,150万円

水素需要を創出し水素活用を促進するため、市内事業者のFCトラック・バス・タクシー導入費用を補助します。



その他の取組

■アジア・アジアパラ競技大会を契機とした取組 2億9,381万円

子どもたちへの観戦機会の提供や採火式等イベントの実施、パラスポーツの振興など、大会を生かした新たな「つながり」の創出、「にぎわいを生かして愛着・誇りを育む取組」を推進します。

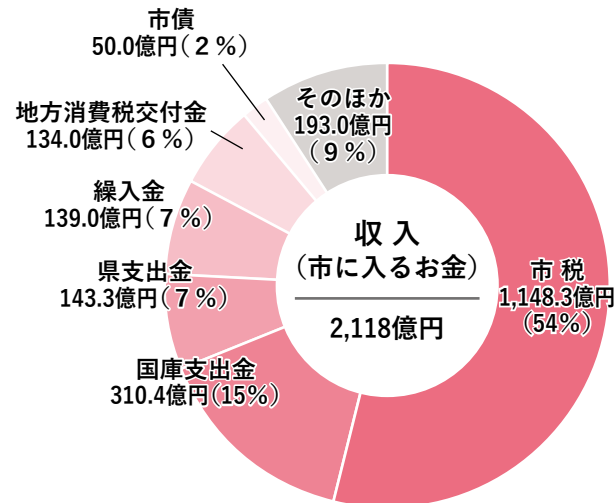
■水道料金の基本料金の免除 14億330万円

■「ずっと元気！プロジェクト」の実施 4億856万円

令和8年度当初予算

一般会計 2,118億円 前年度比3.6%減

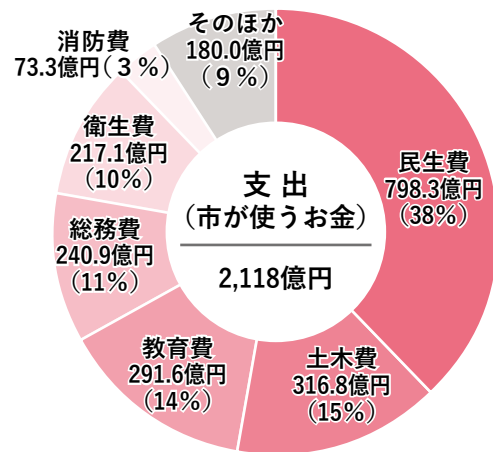
収入



市税 …市民の皆さんや事業所などが納めるお金
国庫支出金 …使い道が決められている国から入るお金
県支出金 …使い道が決められている県から入るお金
繰入金 …主に基金(貯金)を取り崩すお金
地方消費税交付金 …地方消費税のうち県から配分されるお金
市債 …国や銀行などから借りるお金
そのほか …使用料・手数料 など

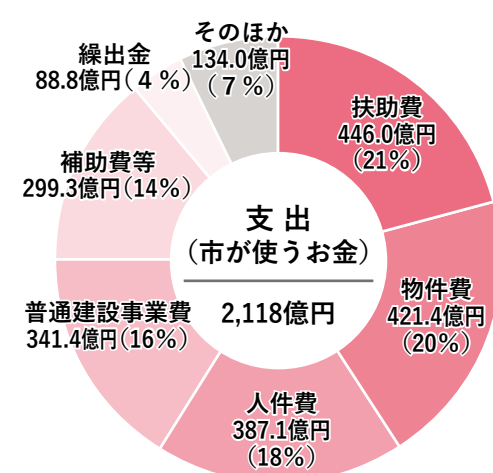
固定資産税 408.5億円 (36%)
個人市民税 343.1億円 (30%)
法人市民税 229.0億円 (20%)
都市計画税 47.4億円 (4%)
そのほか 120.3億円 (10%)

支出(目的別)



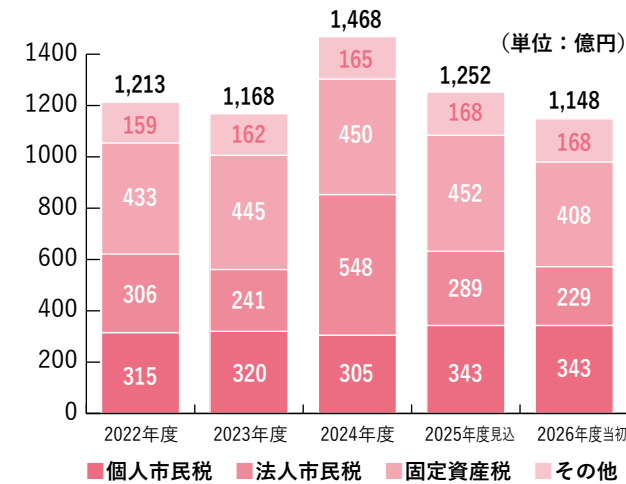
民生費 …高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
土木費 …道路や公園などを整備するためのお金
教育費 …学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
総務費 …地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
衛生費 …病気の予防、ごみ処理や環境を守るためのお金
消防費 …災害対策、被害軽減などのためのお金
そのほか …公債費や商工費、農林水産業費 など

支出(性質別)

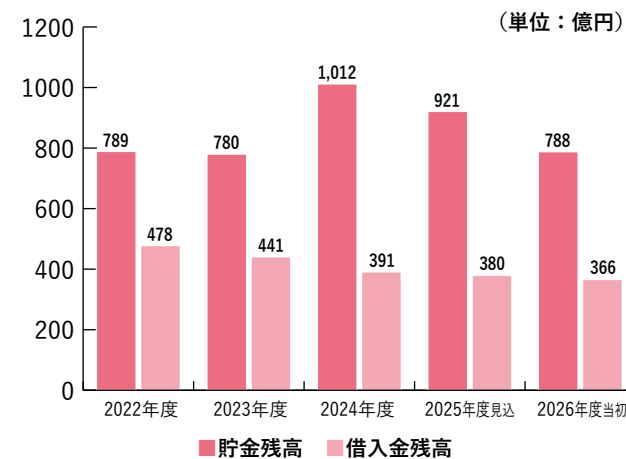


扶助費 …児童手当・生活保護費 など
物件費 …施設の維持管理費 など
人件費 …職員の給与 など
普通建設事業費 …道路や建物の建設費 など
補助費等 …補助金 など
繰入金 …特別会計などへの補てん
そのほか …積立金・公債費 など

市税の推移



貯金残高と借入金残高の推移



目的のある収入の使い道

都市計画税	47.4億円
区画整理・都市整備	10.1億円
街路事業・公園整備	17.0億円
下水道事業への負担金	3.2億円
市債の償還(元金)	17.1億円
森林環境譲与税	2.1億円
森林整備	1.7億円
人材育成	0.2億円
木材利用・普及啓発	0.2億円
地方消費税交付金 社会保障財源分	70.2億円
療養給付費負担金	14.4億円
介護給付費繰出金	12.2億円
定期予防接種費	7.3億円
子ども医療助成費	7.0億円
教育・保育給付費	6.5億円
そのほか	22.8億円

将来のまちづくりへの投資 341億円

- 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業
- 都心環境計画推進事業
- 地域体育館等の空調設備整備事業 など

特別会計 741億744万円 前年度比4.4%増

特別会計とは、特定の事業を行う場合に、一般会計と区別して設置する会計です。その特定の収入をもって特定の支出に充てます。国民健康保険、介護保険、土地区画整理など10会計があります。

企業会計 372億2,969万円 前年度比1.7%増

企業会計とは、独立採算制を原則とする企業経営色の強い事業の会計です。水道事業会計と下水道事業会計の2会計があります。

総額 3,231億3,713万円 前年度比1.3%減